

102-163

問題文

抗アレルギー薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. オマリズマブは、B細胞におけるIgE産生を抑制する。
2. ケトチフェンは、トロンボキサン合成酵素を阻害する。
3. ラマトロバンは、プロスタノイドTP受容体を遮断する。
4. スプラタストは、IgEに結合し、肥満細胞からのケミカルメディエーターの遊離を抑制する。
5. プランルカストは、ロイコトリエン受容体を遮断する。

解答

3, 5

解説

選択肢 1 ですが

オマリズマブ（ゾレア）は、難治性喘息治療薬です。ヒト化 ヒト IgE モノクローナル抗体です。IgEと受容体の結合を競合的に阻害し炎症細胞の活性化を抑制します。IgE産生を抑制するわけではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

ケトチフェンは、抗アレルギー性 H₁ 受容体遮断薬です。H₁ 遮断作用に加え、ケミカルメディエーター遊離抑制作用もあります。トロンボキサン（TX）合成酵素阻害薬では、ありません。（TX合成酵素阻害薬の例はオザグレルです。）

選択肢 3 は、正しい選択肢です。

※ラマトロバンは、TX A₂ 受容体遮断薬 です。そして、TX A₂ に対する受容体が TP 受容体です。

選択肢 4 ですが

スプラタストは、Th₂ サイトカイン阻害薬です。Th₂ 細胞の IL-4、IL-5 産生を抑制します。又、肥満細胞からのケミカルメディエーター遊離抑制作用も持ちます。IgE に結合するわけでは、ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい選択肢です。

以上より、正解は 3,5 です。

類題 、